

高知大学の教育担当理事の奥田一雄です。

本日の AP 外部評価委員会の開催に当たり、AP 実施本部長として一言ご挨拶を述べさせていただきます。

本学は平成 28 年度に文部科学省の大学教育再生加速プログラムの採択を受けました。これは 4 年間のプログラムであり、スタートから 2 年目の平成 29 年度に同プログラムの中間評価が実施されました。その評価結果は昨年平成 30 年 3 月 16 日に通知されました。本学は最高レベルの「S」評価を受け、当初計画を越えた取組状況であると認められたところです。このうれしい「S」評価の通知が、前回の外部評価委員会の開催後にもたらされましたので、ここで改めて委員のみなさまへご報告いたします。

さて、本学における AP 事業のテーマは「卒業時における質保証の取組の強化」となっております。すなわち、学生が卒業段階でどれだけの力を身につけたのかを客観的に評価するしくみを作ることが 1 つ。2 つ目に、教育の成果として学生の成長をより目に見える形で社会へ提示するための効果的な手法を開発することです。

この「卒業時における質保証の取組の強化」というテーマを実現するために、本学は大きく 3 つの範疇でくれる取り組みを行ってきております。

1 つは、教員の教育力の向上。

2 つ目に、学生の成長を客観的に評価する、e-ポートフォリオの開発と実施。

3 つ目には、卒業生調査です。

本日は、平成 30 年度における本学の AP 事業の取り組み状況を説明させていただきます。外部評価委員の方々には、質疑応答を通じまして忌憚のないご意見・ご批評をしていただければと希望いたします。そして、いただいたご意見をもとに、本 AP 事業が終了する来年度に向けてさらに改善を進め、本学の内部質保証のための取り組みの成果を出していけるよう努めて参ります。

本日は何卒宜しくお願い申し上げます。